

事例 3

津軽ダムの役割

DATA

場 所：青森県弘前市立船沢小学校
 実 施 者：津軽ダム工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0172) 85-3005]
 参 加 者：弘前市立船沢小学校4年生、弘前市立文京小学校4年生
 実 施 日：平成13年7月6日
 学 習 時 間：45分

関係する分野



背景

津軽ダムの役割について、6つのテーマに対し各班がパンフレットや広報ビデオ及びインターネットにより調べて分かったことを取りまとめました。
 また、各班の発表後に、津軽ダム工事事務所の職員がゲストティーチャーとして講評し、今後の学習へのアドバイスをを行いました。

内容

津軽ダムの役割について、次のテーマ「沈む村」「環境」「できるまで」「まわりの様子」「目的」「大きさ・費用」について、各班が調べて分かったことを取りまとめ発表しました。
 津軽ダム工事事務所の職員がゲストティーチャーとして講評し、今後の学習へのアドバイスをを行いました。



児童33人、父兄も見学



山田課長がゲストティーチャーでアドバイス

ポイント

- ゲストティーチャー方式により、普段の学校の授業とは一味違う雰囲気づくりと、津軽ダム建設に関わる人々の生の声を聞いていただきました。
- 岩木川流域の26市町村及び小・中・高校へ広報ビデオを提供、また各校児童からの個別「調べ」にも対応できる体制を整えました。

成果

現場見学・ビデオ・パンフレットと色々な方法で子供たちに情報提供することで子供たち自身の知的好奇心、学習意欲に訴え、多くの問い合わせや質問をいただきました。さらにそうした子供たちの「調べ学習」にも応えられる体制づくりにより、子供たちからの信頼を得るとともに一層掘り下げた学習へと進めていくことができました。



全6班の発表 調べてわかったこと、児童各自の感想

学校からの依頼に対して、情報を提供した結果、お便りが届きました。

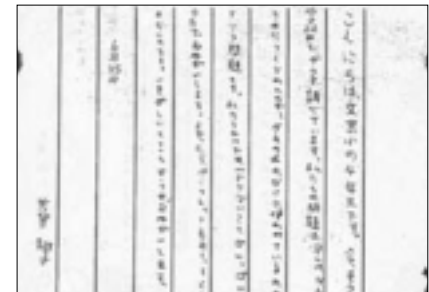
参加者の声

「今、総合学習でダムを調べています。私たちの問題は、『ダムは、何のためにつくられたのか、ダムの水は、なにに使われているのか』という問題です。私たちだけでは、わからないことがいっぱいあるのでおねがいします。」

(弘前市立文京小学校 4年生)

「この前は、本やパズル、資料、ビデオなどいっぱい送っていただいて、ありがとうございます。おかげでまとめがくわしくかけました。わたしたちは手紙をだしてよかったと思っています。」

(弘前市立文京小学校 4年生)



感想文が寄せられました



ダムのことがわかったとの報告です

次のステップに向けて

- 平成12年11月30日より、「津軽ダム周辺総合的学習研究会」を開催し、学識経験者と地域の小学校長及び関係行政機関の担当者による意見交換の場として「地域資源を活用した総合的な学習のあり方」について検討中です。今後はそうした研究会での成果を踏まえながら、津軽ダムを含む地域資源を生かした学習について支援していきます。